

.....

**館園名** : 厚木市郷土資料館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 1998 年 11 月 03 日

**所在地**

・ 〒 243 - 0003 神奈川県厚木市寿町 3-15-25

**公式サイト**

・ <http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>

**設立主体**

・ 厚木市

**運営主体**

・ 厚木市

**設立目的**

・ 郷土の歴史、民俗、自然に関する資料を収集・保管・展示し、ならびにこれらの資料に関し調査研究を行う。

**展示概要**

・ 市民の方々の協力を得て、地域の資料（生き物・民俗・考古・歴史）を収集・常設展示。  
・ 年一回、厚木に関するテーマで特別展示を行う。

**活動概要**

・ 厚木に関するテーマで特別展示や、常設展示、収蔵資料展など。  
・ 資料館見学ツアーや各種講座、講演会、観察会の開催。  
・ 資料の貸し出し・問い合わせへの対応。視聴覚ライブラリー。常設展示図録「あつぎ百科」、特別展図録、「広報あつぎ」「郷土資料館 News」の発行。

**延床面積**

・ 1,234 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 7 名（ 2004 年 12 月現在）

**年間運営費**

・ 円（2003 年度）

**総資料点数**

・ 113,188 点（ 2003 年 3 月現在）

**施設その他**

・ 展示室のほか、閲覧学習室、視聴覚ライブラリーなど。

## 2. ボランティア活動 名称： 古文書解読会

### 活動目的・経緯

- ・ 厚木市郷土資料館の所蔵文書を解読することを目的とする。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 12 名、女性： 8 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 生涯学習文化財保護課郷土資料館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 古文書の解読。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 月二回。

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

## 活動個別シート① 活動名：古文書解読会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 20 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 古文書の解読。

◇活動日

- ・ 第二・三金曜日（14:00～16:00）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ なし

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ なし

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

---

**館園名** : 神奈川県立神奈川近代文学館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1984年10月14日

**所在地**

・〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町110

**公式サイト**

・<http://www.kanabun.or.jp/>

**設立主体**

・神奈川県

**運営主体**

・財団法人神奈川文学振興会

**設立目的**

・神奈川ゆかりの近代文学関係資料、児童文学関係資料などを収集保存し、広く県民の利用に供して文学振興と文化の発展に寄与するため設置。

**展示概要**

・年2回の特別会の他、館蔵資料を紹介する小展示、神奈川ゆかりの作家作品を紹介する常設展を開催。

**活動概要**

・特別展では、神奈川ゆかりの文学者の他、児童文学、大衆文学、文学散歩などのテーマ展を開催。また、県内文芸団体、学校との提携による小企画展も共催。

・講演会、朗読会、展示説明会、子供向け行事、映画会などが実施。

・図録、官報、年報などを発行。

**延床面積**

・7,285.3 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・27名（2005年12月現在）

**年間運営費**

・450,923,000円（2003年度）

**総資料点数**

・約936,000点（2004年3月現在）

**施設その他**

・施設の老朽化が進む中、各所で営繕工事が必要になっている。資料の保存環境の維持管理に最大限つとめている。

## 2. ボランティア活動 名称：「友の会通信」編集ボランティア

### 活動目的・経緯

・ 神奈川近代文学館友の会会員の親睦、交流を促進するため 2003 年度発足、会員有志の寄稿を元に編集発行。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 4 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：3 名、女性：1 名
- ・ 平均年齢 63.5 歳：男性 67.6 歳、女性 51 歳

### ボランティア担当職員（2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：企画普及班
- ・ 担当人数：常勤職員                      名・その他（兼務で）                      名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 「神奈川近代文学館友の会通信」編集発行。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①神奈川近代文学館友の会通信 編集発行

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 4 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 神奈川近代文学館友の会。

◇活動日

- ・ 発行日に合わせメンバーのスケジュールを調整。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 用紙ほか、消耗品代。

◇運営（シフト 等）

- ・ 作業。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 打合せは館に参集してもらう。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 1 月から会員あての広報の他、ホームページで募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 神奈川県立金沢文庫

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 1930年08月08日

**所在地**

・ 〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142

**公式サイト**

・ <http://www.planet.pref.kanagawa.jp/city.kanazawa.htm>

**設立主体**

・ 神奈川県

**運営主体**

・ 神奈川県

**設立目的**

・ 鎌倉時代の武家文庫金沢文庫の研究と教育普及。

**展示概要**

・ ガイダンス展示・称名寺金堂を復元した吹抜展示。  
・ 年6回の特別展・企画展。

**活動概要**

・ 特別展・企画展／講演・講座／調査研究／保存。

**延床面積**

・ 2,805 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 12名（2004年12月現在）

**年間運営費**

・ 円（2003年度）

**総資料点数**

・ 17,778点（2004年3月現在）

**施設その他**

・

2. ボランティア活動 名称：金沢文庫展示解説ボランティア 文庫の会  
活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 16名（2004年4月現在）
- ・ 男性：8名、女性：8名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 総会 年1回。
- ・ 研修会 各展示2回（年12回）。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・



## 活動個別シート 活動名：①展示解説

### ◇活動開始年（西暦）

- ・1998年

### ◇活動人数

- ・16名（2004年12月現在）

### ◇活動内容

- ・展示解説。  
1日2回実施（14:00と15:00）

### ◇活動日

- ・土曜・日曜・祝日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・特になし。

### ◇運営（シフト 等）

- ・正・副の運営員を互撰し、ボランティア集団の自治に委せる。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・文庫側は、連絡網の作成以外、特に関与しない。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・任期（年度の最初の展示から、最後の展示まで）／定員 16名を基準とする。  
選考（面接）・広報（館チラシ及び県・金沢区広報）。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・新人に対するガイダンス（1日）／各展示ごとの研修会（2回）。  
経験者を募集するので、育成講座は行わない。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア保険のみ。金沢文庫負担。

### ◇評価

- ・特にしない（観覧者の評価が、ロコミ・アンケートでフィードバックされている）。

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

---

**館園名** : 神奈川県立生命の星・地球博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1995年03月20日

**所在地**

- ・ 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

**公式サイト**

- ・ <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>

**設立主体**

- ・ 神奈川県

**運営主体**

- ・ 神奈川県

**設立目的**

- ・ 21世紀を担う子どもたちや県民の生涯学習活動に応えるため、46億年にわたる地球および生命の営み、地球環境の必要性をともに考える自然系博物館として開館。

**展示概要**

- ・ 「生命の星・地球」を基本テーマとして、地球の誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史とその神秘性を、①地球を考える、②生命を考える、③神奈川の事前を考える、④自然との共生を考える、という4つのサブテーマで行っている。動植物や化石、岩石などの1万点におよぶ実物標本と最新鋭の映像機器を駆使して展示を展開している。

**活動概要**

- ・ 特別展、自然科学講座、学校週5日制対応講座、ボランティア入門講座などを実施。
- ・ 研究報告、展示解説書、『自然科学のとびら』などを発行。

**延床面積**

- ・ 19,020 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 37名（2004年4月1日現在） ※その他、非常勤13名

・

**年間運営費**

- ・ 約226,000,000円（2003年度） ※人件費を除く

**総資料点数**

- ・ 325,979点（データ登録資料数、2003年度）

**その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 生涯学習の一環として、学習支援事業に位置づけ、ボランティアに学習の場を提供するとともに、学習を支援することを目的としている。また、ボランティアが活動や学習をとおして自己研鑽をはかるとともに、ボランティアの社会貢献をめざしている。
- ・ 1996年4月、学芸ボランティア活動の開始。
- ・ 1998年度、誘導・案内ボランティア活動を導入。
- ・ 2002年度、展示解説ボランティア活動を導入（学芸ボランティアの希望者による）。
- ・ 2002年度、展示解説ボランティア（誘導・案内ボランティアを含む）を導入したことにより体制を変更。現在の①学芸、②館運営、③展示解説ボランティア活動に区分した。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 233名（2003年年度）
- ・ 男性：107名、女性：126名（2003年度）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳 ※個人情報の関係で調べていない。

### ボランティア担当職員

- ・ 部局名称：企画情報部
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（ ）名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①学芸ボランティア、②館運営ボランティア、③展示解説ボランティア

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティア活動は、館で運営。
- ・ 年1回、館が「博物館ボランティア入門講座」を希望分野別実施する。
- ・ 登録は、講座修了者または職員推薦（随時）による。
- ・ ボランティアを志す方は、活動分野の学芸員または職員と事前に活動内容や活動の曜日、時間帯等を調整し、相互理解をはかったうえで、「ボランティア登録票」を提出する。
- ・ 登録の有効期間は1年（当該年度）であるが、ボランティアの自主的な意志と継続性を重視し、再登録することができる。年度末にその更新を行う。
- ・ 「学芸ボランティア」と「館運営ボランティア」への登録は、活動を希望する一分野に限られているが、「展示解説ボランティア」には重複して登録できる。いずれも定年制はない。
- ・ 活動の際に、保険加入希望者には、館がその保険料を負担している。
- ・ ボランティアルームや活動中に総合の情報交換等が行われている。

### 関連する出版物

- ・ 神奈川県立生命の星・地球博物館年報
- ・ 神奈川県博物館協会会報 第74号（当館のボランティア活動を紹介）

### 関連するHP

- ・ 当館のHPに「博物館ボランティア入門講座」を紹介（募集時期）

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 当館の「博物館友の会」との連携

## 活動個別シート ①学芸ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1996 年

### ◇活動人数

- ・ 205 名（2003 年度）

### ◇活動内容

- ・ 学芸分野（植物、菌類、哺乳類、昆虫、魚類、甲殻類、鳥類、古生物、地学、リモートセンシング等）で、資料整理や標本作製、データ入力、調査・研究や展示への協力、学習支援等の活動に協力など、多岐にわたっている。

### ◇活動日

- ・ 主としてボランティアの都合の良い日を担当学芸員と調整して活動している。
- ・ 分野によっては活動日を決めて行っている。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室には机、特化一、白板、博物館関連書籍などを設置。
- ・ 各種の情報や案内を掲示。

### ◇運営（シフト 等）

### ◇交流（情報、組織 等）

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年1月末に「博物館ボランティア入門講座」を実施するための広報を、半年位前から「博物館の催しもの案内」やHP、「県のたより」等で行っている。
- ・ 希望分野で講座を修了した方が、実施した分野で登録し、新年度から活動ができる。
- ・ 入門講座は受け入れ可能な分野と人数で実施している。
- ・ 毎年度ごとの更新を行い、任期、定年制は設けていない。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ とくに行っていないが、特別展開催前日の担当者による展示解説や展示解説ボランティアを対象とした展示室における「学芸員ミニレクチャー」などに自由に参加。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険への加入希望者には館側がその保険料を負担している。

### ◇評価

### ◇課題と展望

- ・ 活動が当館の受け入れ可能な分野に限られていること、ボランティアの個性、知識、技能、経験など、ボランティアの長所を十分生かせるよう活動範囲や活動場所の開発が考えられる。

### ◇その他

- ・ 学芸員は、ボランティアが生き生きした活動、新しい発見や喜びが得られるよう協力し、ボランティア自身の知識や特技、経験等の長所が生かせるよう配慮しながらその学習を支援。

## 活動個別シート ②館運営ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1996年（2002年度に体制を変更）

### ◇活動人数

- ・ 28名（2003年度）

### ◇活動内容

- ・ 「博物館学」「ミュージアムライブラリー」「友の会支援」の3分野で構成。
- ・ ア「博物館学」は、広く博物館全般にわたる活動で、様々である。とくに担当学芸員とともに視覚に障害のある方の利用を積極的に支援。例、点字シールの作成、張り替え等。
- ・ イ「ミュージアムライブラリー」は、図書整理や破損図書の修理、書籍のデータ登録、司書への協力等。
- ・ ウ「友の会支援」は、友の会行事の企画・実施、友の会ニュースの発行・発送、友の会事務への協力等、友の会活動全般を支援。

### ◇活動日

- ・ 主としてボランティアの都合の良い日を担当学芸員や司書と調整して活動しているが、友の会支援のボランティアは活動日を決めて行っている。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室には机、特化一、白板、博物館関連書籍などを設置。なお、「友の会」専用の机やロッカーなどもボランティア室に設置されている。
- ・ 各種の情報や案内を掲示。

### ◇運営（シフト 等）

・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 友の会支援ボランティアは、博物館側と定期的に会合を持っている。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年1月末に「博物館ボランティア入門講座」を実施するための広報を、半年位前から「博物館の催しもの案内」やHP、「県のたより」等で行っている。
- ・ 希望分野で講座を修了した方が、実施した分野で登録し、新年度から活動ができる。
- ・ 入門講座は受け入れ可能な分野と人数で実施している。
- ・ 毎年度ごとの更新を行い、任期、定年制は設けていない。
- ・ 友の会支援ボランティアには、友の会役員が務めており、改選により変わる場合がある。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ とくに行っていないが、特別展開催前日の担当者による展示解説や展示解説ボランティアを対象とした展示室における「学芸員ミニレクチャー」などに自由に参加。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険への加入希望者には館側がその保険料を負担している。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 活動が当館の受け入れ可能な分野に限られていること、ボランティアの個性、知識、技能、経験など、ボランティアの長所を十分生かせるよう活動範囲や活動場所の開発が考えられる。

### ◇その他

- ・ 学芸員は、ボランティアが生き生きした活動、新しい発見や喜びが得られるよう協力し、ボランティア自身の知識や特技、経験等の長所が生かせるよう配慮しながらその学習を支援。

## 活動個別シート ③展示解説ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年（※1998年度、誘導・案内ボランティア活動を開始）

### ◇活動人数

- ・ 42名（2003年度）

### ◇活動内容

- ・ 一般来館者への解説。主として視覚に障害のある方を誘導・案内。

### ◇活動日

- ・ ボランティアの都合の良い日。盲学校や視覚に障害のある個人や団体の利用日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室には机、特化一、白板、博物館関連書籍などを設置。
- ・ 各種の情報や案内を掲示。
- ・ 来館者からの質問に対して学芸員の回答書。ボランティア活動記録（日誌）等。

### ◇運営（シフト 等）

### ◇交流（情報、組織 等）

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年1月末に「博物館ボランティア入門講座」を実施するための広報を、半年位前から「博物館の催しもの案内」やHP、「県のたより」等で行っている。
- ・ 希望分野で講座を修了した方が、実施した分野で登録し、新年度から活動ができる。
- ・ 入門講座は受け入れ可能な分野と人数で実施している。
- ・ 毎年度ごとの更新を行い、任期、定年制は設けていない。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 「学芸員ミニレクチャー」と題し、展示室で学芸員による展示品の解説等を行っている。
- ・ とくに視覚に障害のある方を誘導・案内するボランティアには、理解と技術研修。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険への加入希望者には館側がその保険料を負担している。

### ◇評価

### ◇課題と展望

- ・ 「展示解説ボランティア」の活動日にかたよりがあり、当初目的とした曜日毎の対応ができていない。全くいない日もある。
- ・ 「展示解説ボランティア」においては、来館者の多様化、高度化、専門化しつつある学習要求に対応した研修の機会を計画的に用意する必要がでてきていると思われる。

### ◇その他

- ・ 来館者からも期待されており、人数を確保し、曜日毎の体制を確立する必要がでてきている。

.....

**館園名** : 神奈川県立地球市民かながわプラザ

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1998年02月01日

### 所在地

- ・ 〒247-0007 神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1

### 公式サイト

- ・ <http://www.k-i-a.or.jp/plaza/>

### 設立主体

- ・ 神奈川県

### 運営主体

- ・ 財団法人神奈川県国際交流協会

### 設立目的

- ・ 「こどもの豊かな感性の育成」、「地球市民意識の醸成」、「県民の国際活動の支援」を目的に建設。

### 展示概要

- ・ 常設展示：こどもたちの地球市民学習の手助けとなるものを展示。「こどもファンタジー展示室」、「こどもの国際理解展示室」、「国際平和展示室」がある。

### 活動概要

- ・ 常設展示室や館内の各施設を使い、様々なプログラムや映画上映会、セミナーなどを実施。
- ・ 当館の各施設、各種事業や、地球市民学習に役立つ情報を掲載した「地球市民レポート」を、年3回発行。
- ・ 常設展示室のテーマに沿った企画展を年に3~4回開催。

### 延床面積

- ・ 12,470 m<sup>2</sup> (プラザ専有部分)

### 全職員数

- ・ 40名 ((財) 神奈川県国際交流協会の事務局職員数。ただし、当協会の運営する他施設に勤務する職員を除く)

### 年間運営費

- ・ 501,473千円 (2003年度)

### 総資料点数

・

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：展示スタッフ（ボランティア）

### 活動目的・経緯

- ・ 1998年2月、活動開始。
- ・ 市民参加型の展示運営を進めるため、展示解説や各種プログラムの補助、自主企画イベントなどを実施。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 72名（2005年）
- ・ 男性：7名、女性：65名（2005年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：地球市民学習課 担当人数：常勤4名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①展示解説・案内、②各種プログラムの補助、③自主企画イベントの運営。

### 活動その他

- ・ 展示ボランティアシステム全般の運営は、当協会が行っている。
- ・ 近年、各展示室の枠を越えた協働プログラムの企画を展開する動きがある。
- ・ ボランティアルームを設置。
- ・ 活動上必要となる物品は、貸与または支給する。
- ・ 月2回、活動日の調整や事務連絡のための通知文（協会職員が作成）を送付。
- ・ 年に2～4回、ボランティア連絡会議を開催。
- ・ 年度初めに一般公募し、書類審査、面接にて選考する。
- ・ 資格：18歳以上、県内在住・在勤・在学のいずれか。
- ・ 定年制、任期制なし（1年ごとに継続の意思確認を行う）。
- ・ 当協会が、年に10～12回程度実施。その他、展示スタッフによる自主的な勉強会の開催を、経費等の面で支援している。
- ・ 活動の指針等を示す「基礎的研修」（講師：協会職員）と、展示案内のための知識や資質の向上を図る「専門的研修」（講師：外部の識者・専門家）の2種を設定。
- ・ 3時間以上の活動に対し、1日あたり1,000円を支給。
- ・ 協会の負担により、ボランティア保険に加入。

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://www.k-i-a.or.jp>

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・



## 活動個別シート ①展示解説・案内

### ◇活動開始年

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 72 名 (2005 年)

### ◇活動内容

- ・ 常設の 3 展示室、いずれかに所属し、展示案内、プログラムの実施・補助に携わる (学校学習等の団体見学の対応を含む)。

### ◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティアルームを設置。
- ・ 活動上必要となる物品は、貸与または支給する。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 個人の都合の良い日時で、月に 3~4 日程度、1 回あたり 3~4 時間活動。
- ・ 館の運営を受託している (財) 神奈川県国際交流協会地球市民活動課が運営。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 2 回、活動日の調整や事務連絡のための通知文 (協会職員が作成) を送付。
- ・ 年に 2~4 回、ボランティア連絡会議を開催。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに一般公募し、書類審査、面接にて選考する。
- ・ 資格: 18 歳以上、県内在住・在勤・在学のいずれか。
- ・ 定年制、任期制なし (1 年ごとに継続の意思確認を行う)。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 当協会が、年に 10~12 回程度実施。その他、展示スタッフによる自主的な勉強会の開催を、経費等の面で支援している。
- ・ 活動の指針等を示す「基礎的研修」(講師: 協会職員) と、展示案内のための知識や資質の向上を図る「専門的研修」(講師: 外部の識者・専門家) の 2 種を設定。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 3 時間以上の活動に対し、1 日あたり 1,000 円を支給。
- ・ 協会の負担により、ボランティア保険に加入。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 個人により活動日数・時間にばらつきがある。
- ・ シフト制による常駐体制をとっていないため、団体見学时等に十分なスタッフを確保できないことがある。

### ◇その他

・

## 活動個別シート ②各種プログラムの補助

### ◇活動開始年

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 72 名 (2005 年)

### ◇活動内容

- ・ 国際理解を目的とした各種事業の運営補助を行う。
- ・ 主に子どもの表現活動をテーマとしたイベントやワークショップの運営補助を行う。

### ◇活動日

- ・ 土、日、祝日を中心に活動（休館日を除く）。
- ・ 春季、夏季の長期休暇時に行うイベントの実施日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアルームを設置。
- ・ 活動上必要となる物品は、貸与または支給する。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアが、活動可能な日時に参加する。
- ・ 館の運営を受託している（財）神奈川県国際交流協会地球市民活動課が運営。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月 2 回、活動日の調整や事務連絡のための通知文（協会職員が作成）を送付。
- ・ 年に 2～4 回、ボランティア連絡会議を開催。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年度初めに一般公募し、書類審査、面接にて選考する。
- ・ 資格：18 歳以上、県内在住・在勤・在学のいずれか。
- ・ 定年制、任期制なし（1 年ごとに継続の意思確認を行う）。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 当協会が、年に 10～12 回程度実施。その他、展示スタッフによる自主的な勉強会の開催を、経費等の面で支援している。
- ・ 活動の指針等を示す「基礎的研修」（講師：協会職員）と、展示案内のための知識や資質の向上を図る「専門的研修」（講師：外部の識者・専門家）の 2 種を設定。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 3 時間以上の活動に対し、1 日あたり 1,000 円を支給。
- ・ 協会の負担により、ボランティア保険に加入。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

・

### ◇その他

・

## 活動個別シート ③自主企画イベントの運営

### ◇活動開始年

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 72 名 (2005 年)

### ◇活動内容

- ・ 展示テーマに沿った、プログラムやイベントの企画・運営を行う。内容は、創作・体験活動、読み聞かせ、リズム遊び、スタンプラリー等。

### ◇活動日

- ・ 平日、月に 3 回ほど (ファンタジー展示室の幼児、親子向けプログラム)。
- ・ 土、日、祝日 (その他のプログラム)。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティアルームを設置。
- ・ 活動上必要となる物品は、貸与または支給する。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 企画・運営については、ボランティアの自主性に委ね、必要に応じて当協会の職員が助言等を行っている。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 企画スタッフからの要望により、事務連絡のための通知文 (協会職員が作成のうえ送付) に、活動者募集や、物品提供の依頼等の案内文を掲載している。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに一般公募し、書類審査、面接にて選考する。
- ・ 資格：18 歳以上、県内在住・在勤・在学のいずれか。
- ・ 定年制、任期制なし (1 年ごとに継続の意思確認を行う)。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 当協会が、年に 10~12 回程度実施。その他、展示スタッフによる自主的な勉強会の開催を、経費等の面で支援している。
- ・ 活動の指針等を示す「基礎的研修」(講師：協会職員) と、展示案内のための知識や資質の向上を図る「専門的研修」(講師：外部の識者・専門家) の 2 種を設定。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 3 時間以上の活動に対し、1 日あたり 1,000 円を支給。
- ・ 協会の負担により、ボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 活動内容やメンバーが固定化している感があったが、当協会職員の支援体制の強化により、活動は次第に活発化する傾向にある。
- ・ 職員がどこまで支援すべきかなど、内容や程度に曖昧な部分も多く、対応が職員の過重な負担となることもある。

### ◇その他

- ・ 近年、各展示室の枠を越えた合同イベント等の企画を展開する動きがある。

.....  
**館園名** : 神奈川県立フラワーセンター大船植物園

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

・1962年07月16日

#### 所在地

・〒247-0072 神奈川県鎌倉市岡本1018

#### 公式サイト

・<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/1666>

#### 設立主体

・神奈川県

#### 運営主体

・神奈川県

#### 設立目的

・観賞植物などの収集、増殖、展示などを行うことにより、花き園芸の振興及び植物に関する知識の普及を図るとともに、併せて県民に親しむ場を提供する。

#### 展示概要

・しゃくやく、はなしょうぶ、つつじ類などの園芸植物を中心に国内外の植物約5,700種・品種を展示。

#### 活動概要

- ・植物の植栽展示。
- ・展示場における植物の特別展示。
- ・内外植物園との種苗の交換。
- ・優良種苗の増殖、配布による花き植物産地の振興。
- ・園芸相談。

#### 延床面積

・80,931.24 m<sup>2</sup>（土地面積）

#### 全職員数（常勤職員）

・38（24）名（2004年12月現在）

#### 年間運営費

・68,716,000円（2003年度）

#### 総資料点数

・約5,700点（ 年 月現在）

#### 施設その他

・公開のための使用面積 63,893.24 m<sup>2</sup>（うち建物面積 5,002.81 m<sup>2</sup>）

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

・当園においては、特別展示（展示会の開催（搬入、展示、搬出）、会期期間中の展示内容の説明、関連園芸相談など）を花き愛好家団体などの協力（ボランティア的な性格）をもって実施しているが、現在のところ明確にボランティア活動として位置づけている事業は実施していない。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

.....

**館園名** : 神奈川県立歴史博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1967年03月20日

**所在地**

- ・ 〒231-0006 神奈川県横浜市中区南仲通 5-60

**公式サイト**

- ・ <http://ch.kanagawa-museum.jp>

**設立主体**

- ・ 神奈川県

**運営主体**

- ・ 神奈川県教育委員会

**設立目的**

- ・ 県民の要望により、神奈川の自然と文化を紹介する博物館として、1967年3月に県立博物館として展開。
- ・ 1995年3月18日、神奈川の歴史を主とした神奈川県立歴史博物館として再オープン。

**展示概要**

- ・ 「考古」、「民俗」、「歴史」・「美術」など合わせて約48,000点の資料所有。
- ・ 5つのテーマに分けた総合テーマ展示、導入展示、コレクション展示から成る。

**活動概要**

- ・ 研究報告書、年報、博物館だより、図録等を出版。
- ・ 人文科学講座、ミュージアム・トーク、見学会、教員向け・子ども向け行事などを実施。
- ・ 調査研究事業と連携した特別展を開催。

**延床面積**

- ・ 10,565 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 49名（常勤29 非常勤20名）

**年間運営費**

- ・ 203,000,000円（平成16年度）

**総資料点数**

- ・ 48,000点（ 年 月現在）

**施設その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：神奈川県立歴史博物館ボランティア（展示解説ボランティア）

### 活動目的・経緯

- ・ 1997年7月、活動開始。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 101名（2004年 月現在）
- ・ 男性：56名、女性：45名
- ・ 平均年齢58.6歳：男性62.7歳、女性52.0歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：企画情報部
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①特別展定時解説、②常設展開設、③画像入力処理。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ 館が、ボランティア活動要項、および活動マニュアルにより運営。
- ・ 週1回、曜日ごとに活動。
- ・ 隔月で情報紙「ボランティアニュース」を発行。
- ・ 任期5年（毎年更新）。
- ・ 特別展ごとに研修。
- ・ 年2回、常設展に関する研修を行う。
- ・ その他、ボランティア相互でも実施。
- ・ 保険に加入。
- ・ 月1回各曜日の代表者（2名計12名）と幹事会を開催。

### 関連する出版物

- ・ なし

### 関連するHP

- ・ なし

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

## 活動個別シート ①特別展定時解説

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 99 名（2004 年 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 特別展の定時（11 時、13 時 30 分、15 時）解説

### ◇活動日

- ・ 週 1 回曜日を決めて活動。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 716,000 円（16 年度）。
- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 週 1 回曜日で活動、シフトについては各曜日に一任。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月 1 回各曜日の代表者（12 名）と館との連絡調整会議（幹事会）を開催。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報 県広報誌、チラシ等。
- ・ 選考 3 日間の講座受験者を対象に面接を行い選考。
- ・ 時期 1～3 月。
- ・ 人数 年度により異なる。
- ・ 任期は 1 年更新で 5 年間。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特別展示ごと。
- ・ 講師 学芸員。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険に加入。
- ・ 活動補助費として年間 7,000 円支給。

### ◇評価

- ・ なし。

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアの質の向上、解説レベルの均一化。

### ◇その他

- ・



## 活動個別シート ②常設展解説

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

### ◇活動人数

- ・ 99名（2004年 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 常設展の展示解説。

### ◇活動日

- ・ 週1回曜日を決めて活動。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 716,000円（16年度）。
- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 週1回曜日で活動、シフトについては各曜日に一任。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月1回各曜日の代表者（12名）と館との連絡調整会議（幹事会）を開催。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報 県広報誌、チラシ等。
- ・ 選考 3日間の講座受験者を対象に面接を行い選考。
- ・ 時期 1～3月。
- ・ 人数 年度により異なる。
- ・ 任期は1年更新で5年間。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 専門研修 新規登録者を対象に8日間。
- ・ ・常設展示に関する勉強会 年2回。 ) 講師 学芸員。
- ・ 特別展勉強会 特別展開催ごと。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険に加入。
- ・ 活動補助費として年間7,000円支給。

### ◇評価

- ・ なし。

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアの質の向上、解説レベルの均一化。

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート ③画像入力処理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 2 名（2004 年 月現在）

◇活動内容

- ・ コンピュータに画像を取り込む作業。

◇活動日

- ・ 金曜日、日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算 716,000 円（16 年度）。
- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特になし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月 1 回各曜日の代表者（12 名）と館との連絡調整会議（幹事会）を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 任期は特になし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 初年度に研修を実施したのみ。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険に加入。
- ・ 活動補助費として年間 7,000 円支給。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ なし。

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 川崎市市民ミュージアム

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1988年11月01日

### 所在地

- ・ 〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2

### 公式サイト

- ・ <http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/>

### 設立主体

- ・ 川崎市

### 運営主体

- ・ (財)川崎市博物館振興財団

### 設立目的

- ・ 考古・歴史・民俗・美術・映像等に関する資料および作品について収集、展示、調査研究等を行うことにより、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術、および文化の発展のために設置。

### 展示概要

- ・ 川崎市域の考古・歴史・民俗資料、川崎ゆかりの芸術家の作品、ポスターを中心としたグラフィック作品、漫画の起源から現在までの漫画作品・関連資料、ドキュメンタリー作品を中心とした写真、独立プロを中心とした映画作品、様々なジャンルのビデオを収蔵。

### 活動概要

- ・ 企画展示(年4回程度)、ビデオライブラリー、映画の企画上映、学習講座、イベントを実施。
- ・ ミュージアムカレンダー、企画展図録、収蔵品目録、研究報告書、紀要などを出版。

### 延床面積

- ・ 19,542 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 38人(市派遣職員13人、財団雇用職員10人、嘱託職員15人)

### 年間運営費

- ・

### 総資料点数

- ・ 48,553点

### その他

- ・ 改善委員会の報告を参考に、具体的な改善を進めるため、全庁的な検討体制を設ける。

## 2. ボランティア活動 名称: カワサキ・ティーンズ・プロジェクト・ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 2003 年弾き語りコンサートと写真展からなる「カワサキ・ティーンズ・プロジェクト」を立ち上げるに当たって、10 代のボランティアを募集し、会場づくりや運営等を担当してもらい、出演者と協力してひとつのコンサートを作りあげることになった。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 21 名（2004 年）
- ・ 男性：3 名、女性：18 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 16 歳：男性 18 歳、女性 16 歳（2004 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画情報室 担当人数：常勤 1 名・その他（嘱託職員）1 名

### 活動の種類

- ・ ①イベント（コンサート）における運營業務。

### 活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 広報、審査や会場づくり、照明、音響、進行補佐等のコンサートの運営のためミーティング、ギター工房見学、リハーサルなどを行った。
- ・ 夏休みのティーンズ・プロジェクト「弾き語りコンサート」の運營業務のみの活動に終わっている。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①イベント（コンサート）における運営業務

### ◇活動開始年

- ・ 2003年

### ◇活動人数

- ・ 21名（2004年）

### ◇活動内容

- ・ 「弾き語りコンサート」の広報、審査や、会場作り、照明、音響、進行補佐などの運営業務を担当。

### ◇活動日

- ・ 2004年、7月～8月の9日間。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 館により運営。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ ミーティングを実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 6月初旬、市政だより、チラシ等にて募集。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ギター工房見学、リハーサルを実施。
- ・ PA、照明講座（全3回）

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 現在のボランティア活動を、いかに組織化して活動範囲を広げていくかが課題。
- ・ 今後、監視業務と展示解説・案内を含めたボランティアを育成していきたい。
- ・ 友の会の中にあるボランティア部会との調整が課題。

・

### ◇その他

・

.....

**館園名** : 川崎市青少年科学館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1971年8月15日

### 所在地

- ・ 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柘形7-1-2

### 公式サイト

- ・ <http://www.nature-kawasaki.jp/>

### 設立主体

- ・ 川崎市

### 運営主体

- ・ 財団法人川崎市生涯学習財団

### 設立目的

- ・ 市民の自然に対する興味関心を高めるため、1971年プラネタリウムを中心とした建物が建てられ、以来天文関係を中心に活動。1982年2月、展示室、学習室、天体観測室などを備えた新館が完成。
- ・ 「市民とあゆむ自然博物館」を使命と考え、宇宙を含む川崎の身近な自然について学ぶことから、生涯学習を生涯活動へ結びつけ、自己実現する市民を育成し地域発展の一翼を担う。「自然」「天文」「科学」を3つの柱としている。

### 展示概要

- ・ カントウゾウ臼歯他標本等約4,000点、ニホンムカシジカ雌頭骨、川崎の自然、屋外展示D51蒸気機関車

### 活動概要

- ・ プラネタリウム、天体観測。自然調査等の調査研究活動。常設展示、特別展示の展示活動。各種の教育普及活動。標本、図書、資料整備等の資料収集活動。年報・紀要、生田緑地の観察手引き、科学館活動報告書発行などの出版広報活動。

### 延床面積

- ・ 本館617.43㎡ プラネタリウム512.40㎡。

### 全職員数

- ・ 14人

### 年間運営費

- ・ 45,223千円

### 総資料点数

・

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

### 活動目的・経緯

- ・ 1983年4月、地域との結びつきを強めること、川崎市自然環境調査を進めることを目的に活動開始。2003年11月、NPO法人化。
- ・ 青少年科学館は調査団に第6次自然調査、生田緑地観察会、里山の自然学校、特別展示室の展示などを委託している。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 90名（2004年）
- ・ 男性：40名、女性：50名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### 活動の種類

- ・ ①調査研究への協力、②ガイドツアー、③教育普及事業の企画運営

### 活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ ボランティア組織により運営（ただし、運営委員会には、館職員も参加）。
- ・ 7班に分かれて活動。
- ・ 打合せ会。
- ・ 情報紙「A W h i s p e r O f N a t u r e」（年4回）。
- ・ 主として館の広報誌、ポスターによって一般公募する。その他、市の公報、一般新聞、雑誌等にも、関係記事の掲載を依頼している。
- ・ 入退団は随時可能。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ ボランティア参加者を増やすため、外部講師による生態学講座を年5回程度行っている。
- ・ ボランティア相互で研修を実施。
- ・ 館の負担で保険に加入。
- ・ 生田緑地という50ヘクタールほどの緑地をフィールドとすることが、活動の広がる一因となっている。
- ・ 交通費、食事代を支給できればと考えているが、現状では公費の予算措置が行われる見込みはない。
- ・ 隣接する日本民家園と共同で、民具の製作や使い方などのテーマで、普及活動を活発化させていく余地がある。
- ・ 活動の中心は、自然環境の調査。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://home.a03.itscom.net/nature.net>

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①調査研究への協力

### ◇活動開始年

- ・ 1983年（第1次川崎市自然環境調査開始、現在第6次実施中）

### ◇活動人数

- ・ 90名（2004年）

### ◇活動内容

- ・ 川崎市域の自然環境調査の企画運営。
- ・ 出版物（「川崎市自然環境調査報告」やガイドブック等）の編集。
- ・ 青少年科学館収蔵資料の管理。

### ◇活動日

- ・

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

### ◇評価

- ・ 経験の豊富な人が多く、ほとんど専門家に近いレベルに達して人もおり、自然環境調査に貢献している。

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・ 第6次川崎市自然環境調査：植物、シダ、地学、キノコ、昆虫、野鳥等の班に分かれて活動。高校生以上対象。



## 活動個別シート ②ガイドツアー

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名 ( 年)

◇活動内容

- ・ 自然観察会の企画、およびガイド。

◇活動日

- ・ 毎週日曜日 (年 48 回)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 「生田緑地観察会」青少年科学館から調査団に委託している。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 当日参加 (事前の申し込み不要)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

### 活動個別シート ③教育普及事業の企画運営

◇活動開始年

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 名 ( 年)

◇活動内容

- ・ 「里山の自然学校」地域の自然を理解し自然を大切にできる児童の育成を図る。10 回通年参加。調査団と青少年科学館の共催事業。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 川崎市立日本民家園

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1967年04月00日

### 所在地

- ・ 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柘形7-1-1

### 公式サイト

- ・ <http://www.city.kawasaki.jp/88/88minka/home/minka.htm>

### 設立主体

- ・ 川崎市

### 運営主体

- ・ 川崎市博物館振興財団

### 設立目的

- ・ 主として東日本を中心に、江戸時代を創建時とする代表的な民家等を系統的に集め、市民資産として永久に保存する。

### 展示概要

- ・ 野外展示物 : 古民家、農村歌舞伎舞台など、移築復原した25件の文化財建造物を展示。園路には、道祖神、庚申塔などの石造物を、民家内には民俗資料を展示。
- ・ 本館常設展示 : 古民家に関する基礎的な展示、古民家での生活に関する民俗資料等を展示。
- ・ 企画展示 : 文化財建造物とともに収集した民俗資料をもとに、各建造物での暮らしぶりを紹介。

### 活動概要

- ・ 民家園講座、体験学習講座（わら細工・竹細工・はた織り・紙すき）、こども体験教室、民俗芸能舞台公演、民具製作実演会、ボランティアによる床上公開、年中行事展示、学校団体の体験学習など。
- ・ 日本民家園ガイドブック、古民家解説シリーズ、日本民家園叢書などを出版。

### 延床面積

- ・ 敷地 31,221 m<sup>2</sup> (本館 768 m<sup>2</sup>、展示建造物 4,323 m<sup>2</sup>)

### 全職員数

- ・ 常勤6名(含館長)、非常勤8名。

### 年間運営費

- ・ 119,272千円(2004年度、人件費含まず)

### 総資料点数

- ・ 文化財建造物25件、民俗資料約20,000点

### その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：日本民家園ボランティア「炉端の会」

### 活動目的・経緯

- ・ 1994年9月発足。
- ・ 古民家の維持管理（清掃・燻煙）と、来園者サービス（床上公開、解説、団欒）を行う。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 115名（2004年）
- ・ 男性：51名、女性：64名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：日本民家園 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①古民家での来園者サービス、②団体ガイド、③行事への協力。

### 活動その他

- ・ 例会を月1回実施。
- ・ 日誌、グループファイル等で連絡を取り合う。
- ・ 登録時に養成講座（4～8回）。
- ・ 職員が、例会（月1回）の後半に建造物・民俗資料全般にわたる研修を実施。
- ・ 市民活動保険に加入。
- ・ 10年で永年優待券・記念品を贈る。
- ・ 5年間新規募集を行わず、活動維持が苦しくなったので、2004年度から毎年募集している。
- ・ 1～3グループに分かれていたのを、2005年4月に統合予定。
- ・ 床上公開以外の活動（畑など）も試みている。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①古民家での来園者サービス

### ◇活動開始年

- ・ 1994 年

### ◇活動人数

- ・ 115 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 床上公開対象の古民家内外の清掃。
- ・ 囲炉裏の火焚き。
- ・ 燻煙と団欒の場の提供。
- ・ 見学者に対する家屋や民具の解説。

### ◇活動日

- ・ 毎日 (休園日、夏休み (1 週間程度)、冬休み (20 日程度) を除く)。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 火・水・木・金・土日の各班に分かれ、1 日 2 棟の床上公開。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 例会を月 1 回実施。
- ・ 日誌、グループファイル等で連絡を取り合う。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員が、例会 (月 1 回) の後半に建造物・民俗資料全般にわたる研修を実施。  
登録時に養成講座 (4~8 回)。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 市民活動保険に加入。

### ◇評価

- ・ 10 年で永年優待券・記念品を贈る。

### ◇課題と展望

- ・ 5 年間新規募集を行わず、活動維持が苦しくなったので、2004 年度から毎年募集している。
- ・ 1~3 グループに分かれていたのを、2005 年 4 月に統合予定。
- ・ 床上公開以外の活動 (畑など) も試みている。

### ◇その他

・

## 活動個別シート ②団体ガイド

### ◇活動開始年

- ・ 1994 年

### ◇活動人数

- ・ 115 名 ( 2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 事前に申し込みのあった団体に、団体ガイドを行う。

### ◇活動日

- ・ 平日。1日1団体。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 申し込みの都度、班の中からガイドを選出する。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 例会を月1回実施。
- ・ 日誌、グループファイル等で連絡を取り合う。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員が、例会 (月1回) の後半に建造物・民俗資料全般にわたる研修を実施。  
登録時に養成講座 (4~8回)。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 市民活動保険に加入。

### ◇評価

- ・ 10年で永年優待券・記念品を贈る。

### ◇課題と展望

・

### ◇その他

・

### 活動個別シート ③行事への協力

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 115 名 ( 2004 年)

◇活動内容

- ・ 民家園まつり (入園者対応、芸能公演裏方など)、農村歌舞伎舞台公演など、民家園の企画する行事に協力する。

◇活動日

- ・ 年に数回。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 例会を月 1 回実施。
- ・ 日誌、グループファイル等で連絡を取り合う。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員が、例会 (月 1 回) の後半に建造物・民俗資料全般にわたる研修を実施。登録時に養成講座 (4~8 回)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 市民活動保険に加入。

◇評価

- ・ 10 年で永年優待券・記念品を贈る。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 三溪園

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1906年05月01日（財団設立1953年）

**所在地**

- ・ 〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1

**公式サイト**

- ・ <http://www.sankeien.or.jp>

**設立主体**

- ・ 横浜市

**運営主体**

- ・ 財団法人三溪園保勝会

**設立目的**

- ・ 三溪園内にある重要文化財建造物の維持管理し、日本文化の向上発展に寄与するとともに、諸外国人に対し日本文化を紹介する。

**展示概要**

- ・ 庭園：京都や鎌倉などから移築された重要文化財 10 棟を含む 17 棟の歴史的建造物と四季折々に移りかわる日本の植物。
- ・ 三溪記念館：三溪園やその創設者原三溪ゆかりの美術品および資料を展示、またビデオ映像でも紹介。
- ・ 旧矢筈原家住宅（合掌造）：飛騨地方で使われた民具を展示。

**活動概要**

- ・ 歴史的建造物と四季折々の自然が楽しめる日本庭園を主として公開するほか、その魅力を引き出すような観梅会やさつき展・大茶会・観月会など四季の風物にからめた催しのほか、文化建造物の内部公開や記念館での特別展・企画展の実施。

**延床面積**

- ・ 約 175,000 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 30名（2004年12月現在）

**年間運営費**

- ・ 401,805,763円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 約 2,600点（2004年12月現在）

**施設その他**

- ・ 運営に関する市の補助が削減傾向にあり、自立的経営が迫られている。  
2003年09月に料金の改正を実施。別料金区域を廃止し、一本化した。



## 2. ボランティア活動 名称：三溪園ガイドボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 2003年 料金改定と財団設立50周年を契機に施設の魅力をよりPRし、サービスを向上する目的で設立。
- ・ 初年度は入口でインフォメーションと定点でのポイントガイドのみであったが、来園者の強い要望により本年度からガイドツアーサービスを実施している。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 85名（2004年12月現在）
- ・ 男性：50名、女性：35名
- ・ 平均年齢61歳：男性68歳、女性51歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：事業課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ インフォメーション業務。
- ・ 園内の地点でのポイントガイド。
- ・ ガイドツアーの実施。
- ・ 古建築内部特別公園時のガイド。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティアでの自主的な組織づくり、企画・運営の要望はまだみられない。
- ・ 年に数回の連絡会を行って、提案・要望を出してもらっている。

### 関連する出版物

- ・ 特になし

### 関連するHP

- ・ <http://>

特になし

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 地元町内会・商店街との共催により毎年観梅会に初日にもちつきを行い、来園者に配布。
- ・ 盆栽展、さつき展、朝顔展、菊花展をそれぞれ愛好家団体との共催で実施。

## 活動個別シート 活動名：①三溪園のガイド

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 85 名（2004 年 12 月現在）

### ◇活動内容

- ・ インフォメーション業務や、園内の地点でのポイントガイド。
- ・ ガイドツアーの実施。
- ・ 古建築内部特別公園時のガイド。

### ◇活動日

- ・ 毎日活動（12/29～31 を除く）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア控室があり、資料・連絡書・図書などを置いている。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ シフト表に各自活動可能日を記入し、調整する。1 日 6～7 名程度がガイドを行っている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎日・連絡ノートに記入し、全員が目をとおすようにしている。
- ・ 2～3 ヶ月に 1 度連絡会を設けているほか、研修会を行っている。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期でチラシ・ポスターやホームページ・市の発行物などを利用して募集。
- ・ 資格：18 歳以上で意欲のある人。月に 3 日程度の活動が可能の人。書類選考のみ。
- ・ 現在のところ、任期 1 年で 2 年まで更新可能としているが、変更予定あり。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規登録研修（養成講座）3 回、催しにともなう研修。園外研修も実施予定である。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員がボランティア保険に加入している。（園負担）  
交通費や食費などの実費弁償なし。入園招待券や特別展招待券、発行図録を提供している。

### ◇評価

- ・ 特になし。

### ◇課題と展望

- ・ 研修会や連絡会の資料作成、またシフト調整などの実施側担当者の事務量の負担が大きい。
- ・ 活動メンバーが固定化してきている。

### ◇その他

- ・ ガイドツアーを開始してから予約件数が増加してきており、ガイド付きの園内周遊が好評を博しており、口コミでの来園者の増が期待できるようになった。

.....

**館名** : シルク博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1959年03月12日

**所在地**

- ・ 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町1番地

**公式サイト**

- ・ <http://www.silkmuseum.or.jp>

**設立主体**

- ・ 財団法人シルクセンター国際貿易観光会館

**運営主体**

- ・ 同上

**設立目的・展示概要**

- ・ シルク博物館は横浜開港百年記念事業として神奈川県・横浜市・関係業界の協力によって、昭和34年03月、開港当初英国商社ジャーディン・マセソン商会（英一番館）のあったところに、シルクセンター国際貿易観光会館が建設され、その重要な一事業部門として開設をみたものです。

当館は絹の科学、技術の理解や絹服飾の工芸美の鑑賞の場を提供するとともに、絹の需要を促進することを目的としています。また、これらを通じて国際観光の振興を図るとともに、世界でも数少ない絹に関する施設として多くの人たちに親しまれています。

**活動概要**

- ・ 養蚕飼育、絹の歴史、絹製品のできるまで、絹の工芸品。  
民俗衣装などを展示公開し、絹への理解を深め、絹の需要増進をはかるよう活動している。  
春・秋に特別展。夏にはかいこの自然科学教室を開催している。

**延床面積**

- ・ 2,102 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 4名（2004年12月現在）（博物館のみ）（シルクセンター全体では14名）

**年間運営費**

- ・ 80,000,000円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 約10,000点（2004年12月現在）

**施設その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：特になし

### 活動目的・経緯

- ・ 1990 年のリニューアル時より手織機体験、ふろしきの包み方、着付けなどのボランティアとして水曜土曜に活動してもらうことになった。  
着付けの専門家としてグループ活動を行っている方々。(風の会)

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 8 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：0 名、女性：8 名
- ・ 平均年齢 61 歳：男性 歳、女性 61 歳

### ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：博物館部
- ・ 担当人数：常勤職員 4 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 手織機体験指導。
- ・ ふろしきの包み方指導。
- ・ 着付け相談。
- ・ きものの試着。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

- ・ 無

### 関連するHP

- ・ <http://>  
無

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 無

## 活動個別シート 活動名：①体験活動の指導等

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999年

### ◇活動人数

- ・ 8名（2004年12月現在）

### ◇活動内容

- ・ 手織機指導。
- ・ ふろしき包み方。
- ・ 着付け相談。
- ・ きものの試着。

### ◇活動日

- ・ 水曜 土曜 10：30～15：00→13：30～15：30。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 50,000円 打合せ費。
- ・ ボランティア室は2004年08月までであったがシルクセンターの都合により以降は無くなったので時間を13：30～15：30に変更

### ◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア内部で調整 1日1名～2名

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年2回 打合せを行う。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在はきもの着付「風の会」の方々のみ。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年2回 打合せ時。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無。

### ◇評価

- ・ お礼としてスカーフ、招待券を贈。

### ◇課題と展望

- ・ 高齢化しているので今後現在のボランティアの方々が継続されるかどうか。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 地名資料室

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1996年04月01日

**所在地**

- ・ 〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1丁目 6番 10号生活文化会館(てくのかわさき)4F
- ・ (044)812-1102

**公式サイト**

- ・ <http://www.city.kawasaki.jp/88/88bunka/home/top/ptop1.htm>

**設立主体**

- ・ 川崎市教育委員会文化財課

**運営主体**

- ・ 川崎市教育委員会文化財課

**設立目的**

・ 地名に関する資料集数、研究、展示、学習、情報サービス等の活動をとおして、全国、地域の地名に対する理解を深めていただくため。

**展示概要**

- ・ 江戸期左地図や迅速測図、ガラスショーケースには地名史資料を展示。日替え展示もあり。

**活動概要**

- ・ 地名史資料(全国規模)の収集、展示、市民閲覧サービスの提供、レファレンス。
- ・ 公開講座(地名散歩、地名塾)の開催、企画展示会、展示ガイドレクチャーの実施。
- ・ HPで新着図書を紹介(月別)

**延床面積**

- ・ 201 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 1名（2005年01月現在）

**年間運営費**

- ・ 8,295,000円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 25,000点（2005年01月現在）

**施設その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

・2004年4月1ヶ月をボランティア活動実験月間として、関連の市民に呼びかけた。寄贈資料のうち地図の整理をお願いできた。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 13名（2004年05月現在）
- ・ 男性： 11名、女性： 2名
- ・ 平均年齢 55.8歳：男性 68歳、女性 55.5歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：地名資料室
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（非常勤）2名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 地図資料の整理と一覧表化。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 1ヶ月の限定的試行であった。今後は地名資料室のニーズと受け入れサイドの調整により進行することになった。団体化や継続化は行っていない。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・川崎のまち資源を考える会とは企画展示開催において連携を行いその際の製作展示物は成果物として、地名資料室所蔵品にした。今後、その活用と展開を検討中。

.....

**館名** : 日本新聞博物館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 2000年10月12日

### 所在地

- ・ 〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11

### 公式サイト

- ・ <http://www.pressnet.or.jp/newspark/>

### 設立主体

- ・ 財団法人日本新聞教育文化財団

### 運営主体

- ・ 財団法人日本新聞教育文化財団

### 設立目的

- ・ 地球規模での社会変化と共存の新しい時代に入って、新聞の役割はますます増大している。このことを深く自覚し、永続的な新聞文化の敬称と発展及び教育への貢献を目的とする。

### 展示概要

- ・ 日本の新聞の歩みをたどる「歴史ゾーン」と現代の新聞・通信社の活動を紹介する「現代ゾーン」の2つの常設展示室を中心に、約20万点の収蔵資料をもとにした実物や模型、新聞発行の緊迫した現場を再現する映像などで構成している。

### 活動概要

- ・ 新聞に関する資料、及び新聞製作機材並びに新聞紙面の収集・保管・展示。
- ・ 学校教育における新聞の活用（NIE）を普及促進。

### 延床面積

- ・ 約5,600㎡

### 全職員数

- ・ 24人

### 年間運営費

- ・ 350,000,000円（2003年度）

### 総資料点数

- ・ 約200,000点

### その他

- ・ 日本新聞教育文化財団は日本新聞博物館の他、新聞ライブラリー、NIE全国センターという複数施設を運営しています。延床面積、全職員数、年間運営費はそれら総体の数字です。



## 2. ボランティア活動 名称：日本新聞博物館、ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 各展示室内で来館者に対する案内と展示室の監視。
- ・ 開館時からボランティアを採用し活動をしていただいている。今や館の運営には欠くことが出来ない。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2005年1月現在）
- ・ 男性：13名、女性：7名
- ・ 平均年齢62.4歳：男性67.3歳、女性53.3歳

### ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：事業部
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 来館者に対する案内。
- ・ 展示室の監視。
- ・ 来訪記念新聞に掲載する集合写真の撮影。
- ・ 教育普及イベントの補助。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 年4回、当博物館あるいは新聞に関する知識を深めるための研修を行う。

### 関連する出版物

- ・ なし

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①来訪者の案内、展示室の監視

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 20 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 来訪者の案内、展示室の監視。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費として年間 58 万円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日 4～6 人

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 新聞や横浜ボランティア協会などに募集要項を掲載。
- ・ 資格は 18～70 歳未満で新聞に興味を持ち、週 2 日以上活動できる人。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 企画展示替えに伴う研修。
- ・ 避難訓練。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入（費用は館が負担）。
- ・ 避難訓練。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....  
館園名 : 箱根美術館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

・ 1952 年 06 月 15 日

#### 所在地

・ 〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1300

#### 公式サイト

・ <http://www.moaart.or.jp/japanese/hakone/>

#### 設立主体

・ エム・オー・エー美術・文化財団

#### 運営主体

・ エム・オー・エー美術・文化財団

#### 設立目的

・ 第二次大戦後貴重な文化財の四散を防ぎ、東洋美術の充実した公開をめざして美術品蒐集につとめた岡田茂吉（1882～1955）によって、昭和 27 年に設立される。

#### 展示概要

・ 日本の“中世のやきもの”に焦点をあて中世古窯（常滑・瀬戸・越前・信楽・丹波・備前）の力強く重厚な作品を中心に、縄文時代から江戸時代までの日本古陶磁を収蔵・常設展示室にて展示。  
・ 「苔庭」「竹庭」などの庭を散策できる。

#### 活動概要

・ 「本館」「別館「岡田茂吉の世界」にて、収蔵品の展示。  
・ 「茶室・真和亭」や、「ミュージアムショップ光琳堂」など。

#### 延床面積

・ 881 m<sup>2</sup>

#### 全職員数（常勤職員）

・ 16 名（ 2005 年 1 月現在）

#### 年間運営費

・ 円（2003 年度）

#### 総資料点数

・ 展示点数 150 点（ 2005 年 1 月現在）

#### 施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：MOA美術館アートボランティア  
活動目的・経緯

.

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 671 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：121 名、女性： 550 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 庶務
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 館内の案内監視
- ・ 茶席（活動頻度低）
- ・ 清掃（活動頻度低）
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

.

関連する出版物

- ・ アートボランティア手帳

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

.

活動個別シート① 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 671 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 館内の案内監視

◇活動日

- ・ 開館日

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア控え室

◇運営（シフト 等）

- ・ シフト表に基づき着任

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年一回、任期一年

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年一回の研修（内部講師による講義、体験談等）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 食事の支給

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 平塚市博物館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1976年05月01日

### 所在地

- ・ 〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41

### 公式サイト

- ・ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/index.htm>

### 設立主体

- ・ 平塚市

### 運営主体

- ・ 平塚市教育委員会

### 設立目的

- ・ 相模川流域の自然と文化に関する資料を収集し、保管し、および展示して市民の利用に供するとともにプラネタリウムによる天体運行の映写等を行ない、市民の教育、学術および文化の発展に寄与するため。

### 展示概要

- ・ 「相模川流域の自然と文化」をテーマとする。1階：相模流域の自然と文化、2階：地域をさぐる、3階：星のひろば・プラネタリウム。

### 活動概要

- ・ 特別展の開催、寄贈品コーナーの展示、出版物の刊行、各分野の調査・研究活動、体験学習などを実施。とくに、教育普及活動の充実に力を注いでいる。

### 延床面積

- ・ 3,926.8㎡

### 全職員数

- ・ 10人

### 年間運営費

・

### 総資料点数

・

### その他

- ・ 2005年3月に1階常設展示室をリニューアル

## 2. ボランティア活動 名称：展示解説ボランティアの会

### 活動目的・経緯

- ・ 1999年4月、展示解説を通じて、博物館と市民との橋渡しをすることを目的に活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 21名（2005年）
- ・ 男性：13名、女性：8名（2005年）
- ・ 平均年齢53歳：男性65歳、女性40歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸担当・管理担当 担当人数：常勤 2名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①常設展・特別展の解説、②ガイドツアー、③教育普及事業の企画運営。

### 活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ 展示解説は、1人週1回の当番制。
- ・ 幹事会を中心に、博物館担当職員と協議しながら、全員参加の運営を実施。
- ・ 打合せ会（毎月第1・第3木曜日）。
- ・ 会報を発行。
- ・ 毎年3月発行の市広報に募集要項を掲載。またHPでも募集。
- ・ 定年制はなし。
- ・ 年間会員制。
- ・ 館が、新人研修・特別展研修・他館研修を実施。
- ・ その他、自主研修が行われる。

### 関連する出版物

- ・ 展示解説ボランティアの会会報

### 関連するHP

- ・

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・

## 活動個別シート ①常設展・特別展の解説

### ◇活動開始年

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 21名 ( 年)

### ◇活動内容

- ・ 常設展・特別展の解説。

### ◇活動日

- ・ 休館日以外の毎日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア用ロッカー室とカウンターがある。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 1人週1回の当番制、1日2名程度で解説。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 打合せ会（毎月第1・第3木曜日）を実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年3月発行の市広報に募集要項を掲載。またHPでも募集。
- ・ 任期なし。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が、新人研修・特別展研修・他館研修を実施。
- ・ その他、自主研修が行われる。
- ・ 年に6回、各分野の学芸員による講話を実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無償。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・



## 活動個別シート ②ガイドツアー

### ◇活動開始年

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 21名 ( 年)

### ◇活動内容

- ・ 依頼のあった視察団体等に対するガイドツアー。

### ◇活動日

- ・ ガイドツアーの依頼日に随時。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア用ロッカー室とカウンターあり。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 1人週1回の当番制。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 打合せ会（毎月第1・第3木曜日）。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年3月発行の市広報に募集要項を掲載。またHPでも募集。
- ・ 任期なし。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が、新人研修・特別展研修・他館研修を実施。
- ・ その他、自主研修が行われる。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無償。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート ③教育普及事業の企画運営

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 21 名 ( 年)

◇活動内容

- ・ 博物館で活動するサークルが活動成果を展示する「博物館まつり」における展示の企画・作成。

◇活動日

- ・ 毎年 3 月ごろ。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 展示作成のためのパネルなどの消耗品を支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ 博物館まつり担当会員を中心に、参加できる会員で企画・作成。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 博物館まつり実行委員会を設置。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

◇研修（種類、内容、講師 等）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無償。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 横浜市こども植物園

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

- ・ 1979年06月23日

#### 所在地

- ・ 〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川 3-122

#### 公式サイト

- ・ [http://www.city.yokohama.jp/me/green/kodomo/kodomo\\_1.html](http://www.city.yokohama.jp/me/green/kodomo/kodomo_1.html)

#### 設立主体

- ・ 横浜市

#### 運営主体

- ・ 横浜市

#### 設立目的

- ・ 子供たちに植物に接し自然に親しみながら植物の知識を深め、緑を守り育てる思いやりのある心を培ってもらうとともに、市民に対する緑化の普及、教育活動を行う。

#### 展示概要

- ・ 植物展示見本園 10 種（野草園、バラ園、花木園、くだもの園、薬草園、タケ園、生垣園、水生植物、シダ園、自然観察林）。
- ・ 企画展示 5 回（植物、植と人間の係わりについて）。

#### 活動概要

- ・ こども植物教室。
- ・ みどりんぐスクールの開催。
- ・ 市民花苗交換会。
- ・ 落ち葉感謝祭の開催。
- ・ 植物標本の整理保管。

#### 延床面積

- ・ 30,000 m<sup>2</sup>（植物園の全面積）

#### 全職員数（常勤職員）

- ・ 6名（2004年12月現在）

#### 年間運営費

- ・ 49,000,000 円（2003年度）

#### 総資料点数

- ・ 約 150,000 点（2004年12月現在）

#### 施設その他

- ・ 本館管理事務所、展示研修館、植物標本館、温室。

## 2. ボランティア活動 名称：はまっこ緑の推進隊

### 活動目的・経緯

- ・ みどりんぐスクールで研修を修了した人が推進隊員として、こども植物園で実施する事業にボランティアとして参加する。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 約 600 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：        名、女性：        名
- ・ 平均年齢        歳：男性        歳、女性        歳

### ボランティア担当職員（        年        月現在） 特に設けていません

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員        名・その他（        ）        名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ みどりんぐスクールのバックアップ。
- ・ こども植物園夏祭りへのボランティア活動。
- ・ 落葉感謝祭へのボランティア活動。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

.....

**館園名** : 横浜市立よこはま動物園 (ズーラシア)

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日 (西暦)

- ・ 1999年04月24日

#### 所在地

- ・ 〒241-0001 神奈川県横浜市旭区上白根町 1175-1

#### 公式サイト

- ・ <http://www.city.yokohama.jp/me/ygf/zoorasia>

#### 設立主体

- ・ 横浜市

#### 運営主体

- ・ 財団法人 横浜市 緑の協会

#### 設立目的

- ・ 野生の動物の保護・繁殖を図ると共に、動物を通して自然環境保護への意識の啓蒙。
- ・ 市民の憩いの場としての公園。

#### 展示概要

- ・ オカピ、インドライオン、カンムリシロムクなど、絶滅の危機に瀕した動物たちを、未来の生息環境に近づけた「生息環境展示」で公開すると共に、それに合わせた植物や世界の人々に関する文化を民具等で紹介。
- ・ 気候帯別のゾーニングと身障者に配慮したバリアフリーの施設を構築。

#### 活動概要

- ・ 野生動物の飼育、展示、及び繁殖。
- ・ 野生動物を通して自然環境への興味関心を持ってもらうプログラム・ワークショップの開催。
- ・ 市民との協働、学校や他園館と連携したイベントの開催。
- ・ 野生動物の保護・繁殖に関する調査研究。

#### 延床面積

- ・ 341,000 m<sup>2</sup> (※敷地面積)

#### 全職員数 (常勤職員)

- ・ 87名 (H16年07月現在)

#### 年間運営費

- ・ 約2,000,000,000円 (2003年度)

#### 総資料点数

- ・ 70種 400点 (H16年04月現在)

#### 施設その他

- ・ 野生動物の保護・繁殖に関する専門研究施設「繁殖センター」を併設 (非公開)。
- ・ 園内に約200席のレストランを設置。
- ・ 園内に約200席の休憩施設を設置予定 (17年度)。

## 2. ボランティア活動 名称：ズーラシア サポーターズ

### 活動目的・経緯

- ・ 1999 年の開園を契機に、市民の生涯学習活動の場の提供と共に動物園の魅力づくりを目的として募集、結成。
- ・ 横浜市内の 3 つの動物園のファンクラブである「横浜市動物園友の会」のズーラシア部会としての位置付けで、園内での動物解説、プログラムの実施と共に園外施設への出張ガイドなど活動が広がっている。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 21 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：9 名、女性：12 名
- ・ 平均年齢 不明 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2005 年 01 月現在）

- ・ 部局名称：管理課、経営企画係、教育普及担当
- ・ 担当人数：常勤職員 4 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示動物の解説。
- ・ ②プログラムの実施及び補助。
- ・ ③ニュースレターの発行（年 4 回）。
- ・ ④福祉施設等への出張ガイド。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 横浜市内の 3 つの動物園のファンクラブである「横浜市動物園友の会」の部会としての位置付け。
- ・ 年に 1 回 友の会総会を開催。
- ・ 随時 飼育職員による展示動物の勉強会を実施。

### 関連する出版物

- ・ 友の会機関誌「Zooよこはま」（年 4 回、会員向け）。
- ・ 「サポーターズニュース」（年 4 回、来館者に配布）。

### 関連するHP

- ・ <http://>  
ズーラシアHP

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 2004 年にミュージアムボランティアの合同イベント「ボランティアメッセ 2004」に参加。  
（日本科学未来館）
- ・ 日本平動物園ボランティア及びコウノトリの郷公園ボランティアとの相互交流。  
（静岡） （兵庫）

## 活動個別シート ①展示動物解説

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 21 名（2005 年 01 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 展示動物の解説（パネル、動物の派生物、レプリカ等を使用）。
- ・ 動物スタンプ。

### ◇活動日

- ・ 原則 毎週日曜日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会からの予算として年間 150,000 円を計上（16 年度）。
- ・ 専用のボランティアルームを設置。机・椅子等の備品を園より貸与。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 5 班に分かれて、4 種の動物解説と体験コーナーの実施。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎週日曜の活動日に園のスタッフを交えてミーティングを実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期。（欠員があった次点）
- ・ 資格：20 才以上、小論文と面接にて選考。その後研修（必須）を経て入会。
- ・ 1 年更新。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（2 回：園内の案内、接客マナー等）。
- ・ 自主的な勉強会（飼育スタッフが講師）を随時開催。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 入園料無料。交通費、食費等の支給なし。
- ・ 横浜市のボランティア保険制度があるため、他は未加入。

### ◇評価

- ・ 動物園として決まった表彰などは行っていない。

### ◇課題と展望

- ・ 活動が固定化してきて、新規の広がりがあまり見られない。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ②プログラムの実施及び補助

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 21 名（2005 年 01 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 毎週日曜日に動物園側が開催している「ズーラシア教室」（工作や動物クイズ、講演などを週変わりで実施）年 2 回企画、実施。
- ・ 友の会例会を年 1 回企画、実施。
- ・ その他プログラム等の補助。

### ◇活動日

- ・ 原則 毎週日曜日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会からの予算として年間 150,000 円を計上（16 年度）。
- ・ 専用のボランティアルームを設置。机・椅子等の備品を園より貸与。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 5 班に分かれて、4 種の動物解説と体験コーナーの実施。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎週日曜の活動日に園のスタッフを交えてミーティングを実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期。（欠員があった次点）
- ・ 資格：20 才以上、小論文と面接にて選考。その後研修（必須）を経て入会。
- ・ 1 年更新。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（2 回：園内の案内、接客マナー等）。
- ・ 自主的な勉強会（飼育スタッフが講師）を随時開催。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 入園料無料。交通費、食費等の支給なし。
- ・ 横浜市のボランティア保険制度があるため、他は未加入。

### ◇評価

- ・ 動物園として決まった表彰などは行っていない。

### ◇課題と展望

- ・ 活動が固定化してきて、新規の広がりが余り見られない。

### ◇その他

- ・



### 活動個別シート ③ニュースレターの発行

#### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

#### ◇活動人数

- ・ 21 名（2005 年 01 月現在）

#### ◇活動内容

- ・ 季節毎に動物園に関するトピックスやニュースを掲載したニュースレターを発行し、毎週日曜の活動日などに園内で配布。

#### ◇活動日

- ・ 原則 毎週日曜日。

#### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会からの予算として年間 150,000 円を計上（16 年度）。
- ・ 専用のボランティアルームを設置。机・椅子等の備品を園より貸与。

#### ◇運営（シフト 等）

- ・ 5 班に分かれて、4 種の動物解説と体験コーナーの実施。

#### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎週日曜の活動日に園のスタッフを交えてミーティングを実施。

#### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期。（欠員があった次点）
- ・ 資格：20 才以上、小論文と面接にて選考。その後研修（必須）を経て入会。
- ・ 1 年更新。

#### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（2 回：園内の案内、接客マナー等）。
- ・ 自主的な勉強会（飼育スタッフが講師）を随時開催。

#### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 入園料無料。交通費、食費等の支給なし。
- ・ 横浜市のボランティア保険制度があるため、他は未加入。

#### ◇評価

- ・ 動物園として決まった表彰などは行っていない。

#### ◇課題と展望

- ・ 活動が固定化してきて、新規の広がりが余り見られない。

#### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ④福祉施設等への出張ガイド

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 21 名（2005 年 01 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 動物園周辺の地区センターおよびケアセンターなど、ズーラシアまで足を運ぶことの難しい方々の施設へ出張し、ズーラシアや動物園の紹介を行う。

### ◇活動日

- ・ 原則 毎週日曜日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会からの予算として年間 150,000 円を計上（16 年度）。
- ・ 専用のボランティアルームを設置。机・椅子等の備品を園より貸与。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 5 班に分かれて、4 種の動物解説と体験コーナーの実施。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎週日曜の活動日に園のスタッフを交えてミーティングを実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期。（欠員があった次点）
- ・ 資格：20 才以上、小論文と面接にて選考。その後研修（必須）を経て入会。
- ・ 1 年更新。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（2 回：園内の案内、接客マナー等）。
- ・ 自主的な勉強会（飼育スタッフが講師）を随時開催。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 入園料無料。交通費、食費等の支給なし。
- ・ 横浜市のボランティア保険制度があるため、他は未加入。

### ◇評価

- ・ 動物園として決まった表彰などは行っていない。

### ◇課題と展望

- ・ 活動が固定化してきて、新規の広がりが余り見られない。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 横浜市歴史博物館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1995年01月31日

### 所在地

- ・ 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1-18-1

### 公式サイト

- ・ <http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>

### 設立主体

・

### 運営主体

- ・ 財団法人横浜市ふるさと歴史財団

### 設立目的

- ・ 「横浜に生きた人々の生活の歴史」を基本テーマとし、歴史資料を保管収集するとともに、調査研究を進め、その成果を展示などにより公開することによって、市民の教育、学術および文化の発展に寄与することを目的とする。

### 展示概要

- ・ 市域出土の考古資料、市域より収集した歴史民俗資料、東海道関係資料などを主に収蔵。
- ・ 常設展示室：歴史劇場・通史展示室・スタディサロン・映像コーナーで構成。
- ・ 通史展示室は、原始から近現代まで時代別に6つの部屋からなる。実物資料を中心に、模型・パネル・映像・コンピューターを用い、可能な限り露出展示をすることによって、入館者にわかりやすく親しみやすい展示としている。

### 活動概要

- ・ 企画展、歴史講座、ふるさと横浜探検、体験学習などを実施。

### 延床面積

- ・ 9,269 m<sup>2</sup>

### 全職員数

・

### 年間運営費

・

### 総資料点数

・

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

- ・ 1999年3月、活動開始。

#### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 35名（2004年）
- ・ 男性：25名、女性：10名（2004年）
- ・ 平均年齢59歳：男性63歳、女性51歳（2004年）

#### ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務企画課企画調整係 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

#### 活動の種類

- ・ ①解説ガイド。

#### 活動その他

・

#### 関連する出版物

・

#### 関連するHP

・

#### 館外組織（NPO等）との連携

・

#### 活動個別シート ①解説ガイド

##### ◇活動開始年

- ・ 1999年

##### ◇活動人数

- ・ 35名（2004年）

##### ◇活動内容

- ・ 博物館野外施設として所在する、国史跡「大塚・歳勝土遺跡」（歴史公園）等の解説ガイド。

◇活動日

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア控え室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 館により運営。
- ・ 各人、隔週で半日活动（2人1組）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月1回、定例チーフ連絡会。
- ・ 年2回、全員参加の意見交換会。
- ・ ボランティア控え室内に掲示。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 定期的に一般公募。
- ・ 定年制なし。
- ・ 登録活動期間2年。再登録は不可。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が、教養講座（年2回）、発掘調査参加研修、遺跡見学会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

.....  
**館園名** : 財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー 横浜人形の家

## 1. 施設の概要

### 開館年月日（西暦）

- ・ 1986年06月01日

### 所在地

- ・ 〒231-0023 横浜市中区山下町18

### 公式サイト

- ・ <http://www.welcome.city.yokohama.jp/doll/>

### 設立主体

- ・ 横浜市

### 運営主体

- ・ 財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー

### 設立目的

- ・ 横浜のイメージを活かした国際観光文化施設として人形を通じて世界の風俗文化に触れ国際親善の幅が広がること。

### 展示概要

- ・ 世界140カ国の民族人形、ビスクドールをはじめとするアンティークドール。  
日本全国の郷土人形、御所で愛玩された御所人形、ひな・五月の節句人形等1700点を常設展示。あかいくつ劇場（147席）では人形劇公演も行われる。

### 活動概要

- ・ 常設展示の説明を行う館内説明ボランティアが、開館日全てにわたり活動。  
（平日2人・土日3人）。

### 延床面積

- ・ 3,929 m<sup>2</sup>

### 全職員数（常勤職員）

- ・ 7名（2005年01月現在）

### 年間運営費

- ・ 197,140,000円（2003年度）

### 総資料点数

- ・ 12,958点（2004年12月現在）

### 施設その他

- ・ 開館より18年経過し、老朽化のため平成17年度は改修工事を実施。  
・ 平成18年度以降の運営体制については見直しを図る。

## 2. ボランティア活動 名称：館内説明ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 当館は観光客を多く迎えるミュージアムであり、開館後その入館者の中には人形に対する興味・知識を持つ方々が多くいらっしゃることから、その能力を發揮して頂く場としてボランティア制度を平成2年に発足。平成8年に2期生、平成10年に3期生、平成15年に4期生を追加募集して現在に至る。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 78名（2005年01月現在）
- ・ 男性：5名、女性：73名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（データなし）

### ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：なし
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（派遣 1名）計2名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 常設展示の案内、館内の催事の案内。
- ・ 特別展示の案内。
- ・ 周辺の観光案内

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館主体で運営、年度当初に委嘱式を行う 活動可能な曜日の希望をとり曜日ごとの7班の中でローテーションを作成 班のリーダーを選出し、連絡係やミーティングの出席を依頼。
- ・ 研修の実施 館内（2回）館外（2回） 班特別研修・ミーティング（3回）  
リーダーミーティング（3回）

### 関連する出版物

- ・ 特になし イベントニュース（毎月発行）に活動内容などの報告を随時掲載

### 関連するHP

- ・ <http://> 特になし 人形の家HPにて活動報告など

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし

## 活動個別シート 活動名：

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1990 年

### ◇活動人数

- ・ 78 名（2005 年 01 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 常設展示（2F 世界の人形展示室、3F 日本の人形展示室）の説明
- ・ 特別展示、人形劇公演など催事案内
- ・ 周辺の催事案内

### ◇活動日

- ・ 休館日をのぞく全日  
平日 10-13 時, 13 時-16 時  
土日 10-13 時, 12-15 時, 14-17 時

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 制服（ベスト、9, 13, M, LL）を着回し ロッカー（2）キャビネット（1）  
ネームプレート（78 人分）

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 曜日ごとに半年分のローテーションをくみ活動。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 班別ミーティング（年 3 回）、館内・館外研修（各 2）時に交流を図る。  
委嘱式でも全体の交流を図れる。その他連絡事項は班ごとの連絡網で行う。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 定期的には行っていない。  
H15 年度は平日対応を増やすため H14 年に市の広報などで募集、研修を行う。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ①館外研修：人形関連の展示・博物館等の施設見学。
- ②館内研修：特別展関連の人形作家を講師に招き、講演会を行う。  
話し方・マナー講座などホテルのコンシェルジェの講演など。
- ③自主研修：今年度は班ごとにテーマを設定し周辺施設の見学など自主的な勉強会を実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費・市内 1200 円 市外 1600 円（回数に応じ半期ごとに振込み）。
- ・ お茶代・休憩時に館内の喫茶室で 1 回 315 円分。
- ・ 保険・市のボランティア保険が適用されている（実際のケースはなし）。



◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ リニューアルに向け新しい展示に促したマニュアルの作成と研修。
- ・ 従来の説明ガイドの他 体験（人形をさわる、つくるなど）できるスペースで対応する。  
スタッフ、ボランティアの育成を検討している。

◇その他

- ・ 経費、ボランティアの任期等 制度の見直しの時期にきている。

.....

**館園名** : 横浜マリタイムミュージアム

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

・1989年03月25日

#### 所在地

・〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-1-1

#### 公式サイト

・<http://www.nippon-maru.or.jp>

#### 設立主体

・横浜市

#### 運営主体

・(財)帆船日本丸記念財団

#### 設立目的

・日本の近代化に貢献した国際港横浜の歴史を学び、横浜市民の暮らしと港、船と港のあるべき夢を考える場とする。海事知識の普及・教育・研究の拠点、船・港・海をベースにした市民交流の場とする。

#### 展示概要

・五つのゾーンからなる。  
・帆船日本丸 ・横浜港の歩み ・横浜港の姿 ・船の変遷 ・世界の港

#### 活動概要

・常設展示事業。 ・特別展示事業（平成16年度は「横浜港を彩った客船」）。  
・教育普及事業（子供のための船の工作教室、大人のための船のペーパークラフト教室等）。  
・ライブラリー事業。 ・収集保存、調査研究事業（資料収集、資料の館外貸出等）。

#### 延床面積

・7,146 m<sup>2</sup>

#### 全職員数（常勤職員）

・8名（2004年3月現在） ※ミュージアム関係

#### 年間運営費

・301,302,000円（2003年度）

#### 総資料点数

・45,000点（2004年3月現在）

#### 施設その他

・隣接する帆船日本丸も財団が管理・運営。

## 2. ボランティア活動 名称：(ボランティアの名称はなし)

### 活動目的・経緯

- ・ボランティア制度はないが、学芸活動に協力してくれるボランティアがいる。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6名（ 2004年 3月現在）
- ・ 男性： 6名、女性：0名
- ・ 平均年齢 45歳：男性 45歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2004年 4月現在）

- ・ 部局名称：学芸係
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名  
とくに担当者はきめていない

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・資料（おもに写真）整理一週1日（1人）
- ・教育活動補助 作業のある時
- ・企画展準備作業 作業のある時
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・募集、研修、待遇などとくになし。
- ・課題は高齢化。

### 関連する出版物

- ・なし

### 関連するHP

- ・http://

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。